省エネ お助け隊

特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワーク

支援対象地域：青森県

特徴と得意領域（対応可能な再エネ支援：太陽光 バイオマス ）

2010年より、青森県からの委託を受け、県内にて省エネ診断・省エネ支援のコンサル事業を実施。
そこで得たノウハウを活用し、中小企業に対する省エネアドバイスや、実施計画の作成など省エネ診断からアフターフォローまで、企業の状況にあった切れ目のない省エネ支援を実施することができる。
青森県をはじめとする、中小企業支援団体等とのネットワークを活用し、省エネ促進事業を実施。

➢ 過年度事業参加実績　平成26年度（補正事業）～令和4年度にかけ7箇年参加　延べ支援者数36者

過年度事業における支援事例

寒冷地における福祉施設の浴槽での省エネ提案

福祉施設から、エネルギーコストの削減についての相談があり、省エネ診断を行った。この施設には大型浴槽が2か所あり、常時加温されていたため、入浴時以外は保温カバーをすることで、加温に係るエネルギーコストの削減を図った。保温シートは発泡ポリスチレンシート（2,000㎜×4,000㎜×3㎜（厚さ））を2枚を50,000円で購入し、自作した。実施後のエネルギー使用量は5.26kL/年の削減となり、少ない費用で大きな成果を得ることができた。

この他にも、空調・照明・太陽光発電の導入など、事業所全体の省エネ提案を行い、順次、実施の検討を行っている。

エネルギーコスト　46万円/年　削減

保温シート使用イメージ

寒冷地の専門学校での省エネ提案

専門学校の省エネでは時間割や長期休みなど、生徒の動きに着目しつつ、サーモカメラを活用して、冷気の入り込みを見える化し、データに基づいた診断を実施した。

長期休みや土曜日に、自習する生徒が使用する教室を集約することで、暖房時間を短縮し、約12万円/年の削減。

また、トイレの凍結防止用の暖房機の設定温度は15℃で暖房と兼用され、稼働期間は11月～4月となっていた。11月と4月は凍結の恐れがないため、設定温度を5℃に下げることで、約10万円/年のコスト削減となった。

エネルギーコスト　27万円/年　削減

凍結防止ヒータ

まずは、お金のかからない運用改善で省エネを進めた。

この他、照明のLED化、二重カーテンの設置、凍結防止ヒーターへのタイマー設置など、投資改善提案も行い、実行に向けて検討している。

事業者概要

- 電話番号　：0178-41-2400
- 受付時間　：9:00～12:00、13:00～18:00（平日のみ）
- E-MAIL　：info@npo-cross.jp
- 担当者名　：佐々木、鶴飼

2003年8月青森県八戸市に特定非営利活動法人として設立され、環境・エネルギー産業を主たる活動としている。前身は八戸商工会議所の一つの委員会。省エネルギーに関する事業は2010年より開始。青森県・八戸市・東北経済産業局等の行政とも連携し、省エネ事業を推進している。

➢ 事業活用可能ネットワーク

《自治体》
✓ 青森県 環境生活部 環境政策課

《中小企業等機関》
✓ 公益財団法人21あおもり産業総合支援センター

➢ 省エネ関連事業

《省エネ関連事業》
✓ 令和5年度青森県中小事業者省エネ診断促進事業業務（三八・上北・下北地域）
✓ 令和4年度補正予算 中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業費補助金　診断機関
✓ 令和5年度 工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（SHIFT事業）支援機関

支援事例・セミナー情報等の詳細については、WEBサイト「省エネお助け隊ポータル」に掲載されています。

詳しくは、省エネお助け隊ポータル　または　https://www.shoene-portal.jp/